



# 小野崎まさき県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

## 空港騒音対策など要望

### 空港関連企業への就労斡旋を 成田財特今後10年の事業費



自席から再質問と要望を語る  
小野崎県議

年10月から共生財団を実施主体として申請受付を開始したところです。本年5月末の進捗状況は、対象件数874件に対し、申請件数148件、工事完了件数は48件となっています。共生財団などからは、事業を進捗させるに当たっては、工事の施工内容や内窓の効果の理解を浸透させる必要があると聞いています。

### 空港関連企業への就労

小野崎議員 地元住民の空港関連企業への就労について、県の考え方はどうか。また、県としてどのように取り組んでいくのか。

総合企画部長 「地域の発展」と「空港の発展」が好循環する地域づくりの実現には、地域の人々が空港ビジネスで働くことが大変重要だと考えています。県では、本年2月に横芝光町などと共催で、成田空港の貨物関連企業13社による求職者向け合同説明会を実施したほか、5月には、地元企業でのインターンシップを県内の大学生に紹介する取り組み、既存防音工事の充実の事業の進捗は、どのようになっているのか。

### 内窓設置で防音対策

小野崎議員 成田空港の騒音対策について、内窓設置工事の進捗は、どのようになっているのか。

総合企画部長 内窓設置 置工事は、昨年3月の四者協議会で深夜早朝対策として実施することが確認されており、A滑走路の夜間飛行制限の変更に向けて、昨年10月から共生財団を実施主体として申請受付を開始したところ。本年5月末の進捗状況は、対象件数874件に対し、申請件数148件、工事完了件数は48件となっています。

### 6月県議会一般質問に登壇

小野崎議員 成田財特法に基づく、これまでの事業費の総額はどうか。また、今後10年間で予定されている事業費はどうか。

総合企画部長 昭和45年3月の成田財特法制定以降、平成30年度末までの事業費総額は、約5627億円の見込みとなっています。また、今回の法改正により、今後10年間で取り組んでいく事業費は、成田用水改築事業をはじめ、約357億円です。県としては、引き続き成田財特法を活用し、地元市町と連携しながら、空港周辺地域における公共施設の計画的な整備を図ってまいります。

●県政についてのご意見、ご要望をお寄せください

**小野崎まさき 県事務所**

〒289-1516 山武市松尾町田越756-3  
 TEL0479-80-8333 FAX0479-80-8388  
 E-mail m.onozaki@orange.zero.jp

**お知らせ**

小野崎県議の成田空港関連の質疑の模様は、千葉県議会のホームページから、インターネット中継(録画)で、すべてご覧いただけます。

# 高齢ドライバー支援に補助制度を



本会議場に登壇した小野崎県議

## 交通事故の人口比較

**小野崎議員** 連日、自動車事故に関する痛ましい報道が後を絶ちません。県内でも4月に木更津市内で登校中の小学3年生の児童が、横断歩道を横断中にはねられ死傷するなどの痛ましい事故がありました。

その中で伺います。人口比率での直近の交通事故死者数と、過去の比較はどうか。  
**早川警察本部長** 人口10万人当たりの交通事故死者数を県別に比較すると、本県の昨年の人口10万人当た

## 高齢ドライバーの事故

**小野崎議員** 高齢運転者による事故の発生状況はどうか。  
**早川警察本部長** 本年

5月末現在、65歳以上の高齢ドライバーが、二輪車を含む車両を運転して、第一当事者となった交通事故は、

# 九十九里浜の侵食対策を急げ!

前年同期比86件増加して、1600件発生しており、これは交通事故全体の23.3%を占めています。

全国的に高齢ドライバーによる重大な交通事故が発生し、社会的関心が高まっています。県内でも高齢ドライバーが第一当事者となる事故は増加傾向にあり、

## 侵食対策検討会議で

**小野崎議員** 九十九里浜における侵食対策の現状はどうか。  
**県土整備部長** 九十九里

浜では、沿岸漂砂の減少等により、著しく海岸侵食が進んだ箇所もあり、高波から後背地を守る防護機能の低下や、海水浴場の閉鎖、さらには動植物の生息環境の変化など、防護・利用環境の面で影響が出ています。

県ではこれまで、九十九里浜60キロメートルのうち、海岸侵食の著しい、北九十九里14キロの区間で12基、南九十九里7キロの区間で10基のヘッドランド整備を進め、合わせて南九十九里では、人工的に砂を入れる養浜も実施してきました。

しかしながら、事業区間以外でも侵食が拡大してきたことから、平成28年度から学識経験者、沿岸市町村長、漁業関係者などで構成する

「九十九里浜侵食対策検討会議」を設置し、九十九里浜全域を対象とした対策の検討を進めてきたところです。  
**小野崎議員** 本年3月に開催された九十九里浜侵食対策検討会議の結果はどうなったのか。  
**県土整備部長** これまで

開催した検討会議において、海岸侵食の現状やそのメカニズムについて共通の認識を深め、侵食対策の目標や整備方針などについて、沿岸9市町村長や漁業関係者などから、さまざまなご意見をいただきながら、検討を進めてまいりました。

最近も一歩間違えば多数の被害者を出すこととなりかねない高齢ドライバーの事故が発生しています。

**要望** 千葉県でも、県の威信にかけて、関係機関が連携してサポートの導入や急発進を防ぐ装置への補助制度を研究するよう要望します。

## 修学支援新制度がスタート

**小野崎議員** 新たな修学支援の法律が国会で成立し、いよいよ来年4月から、「高等教育の修学支援新制度」がスタートします。経済的理由で進学を諦めることがないよう、そして高校の成績だけで判断せず、意欲を重視した制度とのことです。

同新制度が実施されるが、その効果について、県としてどのように考えているのか。  
**森田知事** 社会で自立し、活躍することが出来る人材を育成する高等教育機関への修学を支援することは、生徒が安心して学べる環境の整備を図る上で、重要で

委員から合意をいただいたところ。 **要望** 侵食対策は本当に喫緊の課題である。

**九十九里浜の津波対策** **小野崎議員** 次に津波対策について伺います。九十九里有料道路の開口部対策のうち、陸間を整備する箇所はどこか。  
**県土整備部長** 九十九里

有料道路の開口部については、津波の浸入防止を図る必要があることから、陸間の設置や堤防によって囲うなど、

あると認識しています。そのため、県では高等教育機関のうち、私立専門学校の設置者に対し、生徒の修学上の経済的負担を軽減するため、独自に経常費補助金を交付しているところ

さらに、新制度の授業料等減免や給付型奨学金の実施により、より多くの低所得世帯の生徒が、質の高い教育を実施する専門学校で学ぶことができるようになることは、今後、千葉県が発展していくためにも、大変有意義なことだと考えます。

**小野崎議員** 今後、修学支援新制度の実施に向け、県はどのように取り組んでいくのか。  
**森田知事** 支援の対象となる私立専門学校は、「実務経験のある教員による授業の実施」等の一定の要件が求められていることから、県では、国において制度の詳細が決まり次第、学校の要件確認を行い、9月末までに対象となる専門学校を公表する予定です。

## 県において、本制度の導入がスムーズにできるよう、審査・周知などしっかりと取り組むよう要望します。

**要望** 県においては、本制度の導入がスムーズにできるよう、審査・周知などしっかりと取り組むよう要望します。

**小野崎議員** 陸間の整備は今後どのように進めていくのか、また、確実に閉鎖できるように、どのように運用していくのか。  
**県土整備部長** 今後は、開口部周辺の住民に対し、陸間の構造や機能についての説明会を開催した上で、整備を進めてまいります。

また、陸間は、Jアラートによって自動的に閉鎖する構造として整備し、その後、遠隔地からの操作も可能とすることとしています。

さらに確実な閉鎖を行うため、地元市町とも連携し、堆砂の除去など適切な維持管理を行ってまいります。

また、陸間は、Jアラートによって自動的に閉鎖する構造として整備し、その後、遠隔地からの操作も可能とすることとしています。

また、陸間は、Jアラートによって自動的に閉鎖する構造として整備し、その後、遠隔地からの操作も可能とすることとしています。